

令和元年度（2019年度）教育警察常任委員会管外視察の概要

- 1 視察期間 令和元年（2019年）11月5日（火）～7日（木）
- 2 視察者 教育警察常任委員会委員（8名）
山口 裕（委員長）、竹崎和虎（副委員長）、城下広作、
溝口幸治、淵上陽一、増永慎一郎、岩田智子、島田 稔
- 3 視察の概要

（1）柏市立柏高等学校（千葉県柏市）

同校吹奏楽部では、短時間で効率の上がる練習を実践しながら、平成30年度の全日本吹奏楽コンクール銀賞、全日本マーチングコンテスト金賞と全国大会で優秀な成績を収めている。

今回の視察では、教職員の働き方改革が求められているため、吹奏楽部が実践している練習方法について説明を受け、全体練習の様子を見学した。

指導に当たる顧問からは、各個人のウォーミングアップや基礎練習をシステム化するとともに、徹底的にルーティン化することで効率的な練習に取り組んでいるとの説明があった。



（2）千葉県警察本部110番指令センター（千葉県千葉市）

同センターでは、平成31年4月に新指令システムを更新整備し、運用している。

今回の視察では、本県でも新指令システムへの移行予定があるため、移行に当たっての課題等について説明を受け、センターの運用状況を見学した。

担当課長からは、指令システムの更新に当たっては、日進月歩で進化する通信技術と警察現場の両方に精通したシステム担当者の養成が必要との説明があった。



（3）千葉運転免許センター（千葉県千葉市）

千葉県警察本部では、過疎地への巡回出動による治安維持やイベント時の臨時開設による安全確保を目的に、移動交番車をこれまで60台配備してきた。

今回の視察では、移動交番車の必要性について検討するため、千葉県運転免許センターの駐車場に配置された移動交番車を見



学するとともに、運用状況等について説明を受けた。

担当者からは、県民アンケートでも「移動交番車を地域で見かけると安心できる」との好意的な意見も多く、県警としても、高齢者を対象とした電話詐欺の防止・啓発や、身近で発生する犯罪の抑止に効果があると評価しているとの説明があった。

(4) 東京都オリンピック・パラリンピック準備局（東京都新宿区）

東京都では、優れた運動能力を有するジュニア選手を体力テスト等で評価・発掘し、競技人口が少ないボートやボクシングなど7つの競技を重点的に、トップアスリートとして活躍できる人材育成を行っている。



今回の視察では、本県におけるトップアスリート育成の参考とするため、トップアスリート発掘・育成事業について説明を受け、課題等に関して意見交換を行った。

担当者からは、中学の運動系部活動では、運動能力や身体能力が高い生徒でも、限られた人数しかスタメンに入れない現状があり、そうした人材をトップアスリートとして育成するこの取組みは、本人にとっても競技団体にとっても互いにメリットがあるとの説明があった。

(5) 東京都立小石川中等教育学校（東京都文京区）

同校は、6年間の中高一貫教育校として、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的思考力等を培うことで将来、社会を牽引する人材育成を行っている。



今回の視察では、中高一貫教育の参考とするため、同校が実践しているカリキュラムについて説明を受け、地学、数学及び生物の授業を見学した後、意見交換を行った。

校長からは、理科の授業では、毎回必ず実験を取り入れており、必ず結果を予想させた上で、それを実験で確認させ、予想通りの結果が得られたかどうかを考えさせることを繰り返し行っているとの説明があった。